

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年02月25日

計画の名称	大府市における下水道整備による安全・安心なまちづくり（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	大府市													
計画の目標	下水道整備により安全・安心なまちづくりを目指し、快適な暮らしを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		159	A	159	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	ストックマネジメント計画策定の進捗率50%（H31当初）から100%（H31末）とする。			
	ストックマネジメント計画策定の進捗率（%）	50%	100%	100%
2	重要な幹線等に分類される污水管渠のうち、耐震対策が必要と判断された管渠（約1.1km）の耐震対策実施率を0%（R2当初）から100%（R5末）とする。			
	重要な幹線等に分類される污水管渠のうち耐震対策が必要と判断された管渠の耐震対策実施率（%）	0%	0%	100%
	耐震対策が実施されている管渠の延長（m） / 耐震対策が必要と判断された管渠延長（m）			
3	電気設備の改築更新が必要と判断されたマンホールポンプ場の改築更新率を0%（R4当初）から100%（R5末）とする。			
	電気設備の改築更新が必要と判断されたマンホールポンプ場の改築更新率（%）	0%	0%	100%
	改築更新が実施されているマンホールポンプ場数（箇所） / 改築が必要と判断されたマンホールポンプ場数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大府市	直接	大府市	-	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定 A=1,288ha	大府市	■					17		-
	A07-002	下水道	一般	大府市	直接	大府市	管渠（汚水）	改築	汚水管耐震対策（地震対策）	汚水管耐震設計 L=1.1km	大府市		■				12		-
	A07-003	下水道	一般	大府市	直接	大府市	管渠（汚水）	改築	汚水管耐震対策（地震対策）	汚水管耐震工事 L=1.1km	大府市				■	■	80		策定中
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-004	下水道	一般	大府市	直接	大府市	ポンプ場	改築	マンホールポンプ場（改築更新）	電気設備改築更新 N=15箇所	大府市				■	■	50		策定済
		ストックマネジメント計画																	
											小計						159		
										合計							159		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大府市水道部内において実施	令和7年2月
	公表の方法
	大府市のウェブサイトにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備により安全・安心なまちづくりを目指し、快適な暮らしを推進することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も効果的に整備を進めることで、安全・安心なまちづくりを目指す。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	ストックマネジメント計画策定の進捗率（％）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	重要な幹線等の污水管渠の耐震対策実施率（％）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	マンホールポンプ場の改築更新率（％）		
	最 終 目標値	100%	資材価格の高騰、材料の入手困難等の理由により、全15箇所の内、10箇所実施となった。未実施となった箇所については、次期計画に位置付け引続き改築更新を図る予定である。
	最 終 実績値	67%	